

新しい教科書

コロナ禍になって三年目の春を迎えました。学校の記念園の桜も、3月下旬頃から咲き始め、始業式の頃には、昨年度同様、美しい花を咲かせてくれました。桜はしなやかさと優しさだけでなく凛とした佇まいも感じさせてくれます。コロナ禍への状況の変化に一喜一憂するのではなく、ゆったりと大きな目でものごとを見ていくんだと、この桜は教えてくれているような気がします。

さて、始業式の日みんな元気いっぱいに登校してきました。遠くから「おはようございます！」と大きな声であいさつをしてくれた子どもたちいて、とても嬉しくなりました。元氣なあいさつで学校も活気を取り戻してきたようです。登校後の靴箱を見ると、とてもきれいに揃えてありました。その様子を見るだけでも、子どもたちのやる気が伝わってくるようです。



始業式では、新しい教科書を代表の児童に渡しました。まだ折り目のついていないピカピカの教科書。一年間に学ぶことがいっぱい詰まっています。ワクワクしながら教科書を開いてほしいなと思います。そして、一年間使う教科書ですから、必ず丁寧に名前を書いて大事に使ってほしいとお話しました。各教室を参観してまわっていると、さっそく教科書に名前を書いているクラスもありました。一文字一文字、丁寧に心を込めて書いていました。子どもたちの、今の「わくわくする気持ち」や「よしがんばるぞ」という気持ちを大切にしながら、心に残る素晴らしい一年となるよう全教職員で力を合わせ頑張っています。どうぞ今年度もよろしくお願いいたします。



教職員の紹介

校長	竹内 悦子
教頭	千馬 純子
教務	岡本 善憲
あすなろ	近藤 明日
たんぼぼ	内田 ゆきの
ひまわり	納所 和祈
1年	内田 ひなの
2年	熊澤 精二
3年	片山 裕人
4年	日原 廣大
5年	井口 真喜子
6年	井口 真由香
養護	岡本 敦子
事務	藤枝 紗永子
司書	岡 真智子
校務	塩見 誠

習熟度別サポーター	角南 桂子
特別支援教育支援員	瀬島 里華
特別支援教育支援員	楠戸 満代
不登校児童生徒支援員	小松 佐起子
学校業務アシスト	〃
拠点校指導員	矢延 文夫

転任・退任の先生方、お世話になりました

佐藤 真美先生 (ご退職)
 信江 啓子先生 (蛍明小学校へ)
 福本 直隆先生 (西小学校へ)
 平 靖幸先生 (御津中学校へ)

新しい教職員の紹介、よろしくお願いします！

千馬 純子先生 (石井小学校より)
 前原 真喜子先生 (庄内小学校より)
 片山 裕人先生 (新採用)
 納所 和祈先生 (新採用)

※河合優里先生は、ご結婚されてしばらくお休みをいたします。

4月の行事予定

日	曜	行 事
1	金	学年始休業日
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	新式・始業式 一斉下校11:30
8	金	一斉下校11:55 身体測定(6年・5年・4年・あすなろ)
9	土	
10	日	
11	月	給食開始(2～6年) 入学式準備(6年) 身体測定(ひまわり・3年・2年) 2年～5年生一斉下校14:10 6年生下校15:40
12	火	入学式(1年・6年) 2～5年生は家庭学習 6年下校11:10
13	水	地区別児童会 交通教室(登校班・バス) 1年生給食開始 一斉下校15:40
14	木	身体測定(たんぼぼ・1年) 聴力検査(6年・5年・4年)
15	金	視力検査(あすなろ・6年・4年・3年)
16	土	
17	日	
18	月	委員会 校納金引落日 視力検査(ひまわり・2年・1年・5年)
19	火	全国学力学習状況調査(6年国算理) 岡山市学力アセス(2年～5年国算) 家庭訪問(野々口・北・南・虫名・吉尾) 尿検査
20	水	家庭訪問(国ヶ原・川高・中山・中牧・北野・芳谷) 視力検査(たんぼぼ) 尿検査
21	木	家庭訪問(宇垣・原・山条) 避難訓練 聴力検査(あすなろ)
22	金	家庭訪問(河内・母谷・野々口・小山)> 聴力検査(たんぼぼ・3年・2年・1年)
23	土	
24	日	
25	月	聴力検査(ひまわり) 交通安全教室
26	火	英語タイム
27	水	
28	木	
29	金	昭和の日
30	土	

地域の皆さん、いつも登下校の見守りをしてくださってありがとうございます。



裏面あり

相手の立場に立って考えよう

「どんなきもちかな」
たにかわ しゅんたろう
谷川 俊太郎

どんなきもちかな
なかまはずれに されたら
どんなきもちかな
しっばいを わられたら
どんなきもちかな
ないしよばなしを されたら
どんなきもちかな
やくそくを やぶられたら
どんなきもちかな



始業式で、谷川俊太郎さんの詩「ともだち」の中の「どんなきもちかな」を紹介しました。「みんなだったら、どんな気持ちになる？」と尋ねました。すると、子どもたちから、「悲しくなる」「辛くなる」「寂しい」という気持ちを伝えてくれました。「仲間外れにされているお友だちを見たら、みんなだったらどうする？」と尋ねると、「一緒に遊ぼうって誘ってあげる」という声があがってきました。自然と子どもたちから拍手が沸き起こりました。みんなも同じ思いだったのでしょね。相手の立場に立って考えることの大切を、この詩は私たちに伝えてくれているのかなと思います。この一年、みんなが笑顔で過ごせるように、今まで以上に思いやりのある言動ができる「みなみっ子」を育てていきたいと思っています。

